

長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市中川2丁目2番5号 長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
電話 (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 大場 雅信 一第10号

メールアドレス
naga-kks@fslinet.or.jp

大好評、教員採用試験対策学習会

高まる高教組への期待 教員採用試験1次直前

「一般教養」学習会に29人参加！

7月7日(土)、長崎高教組は、鳴滝高校で、教員採用試験1次直前「一般教養」学習会を東京アカデミー長崎校の講師を招いて開催しました。この学習会は5月に開いた「教職教養」学習会の際、多くの参加者から「一般教養」の学習会も開いて欲しいという要望に高教組が応えたもので、急な開催でしたが、30人近い参加があったことは高教組への期待の表れと感



教員採用試験1次直前「一般教養」学習会

見が多くありました。特に経験の浅い若い人には高教組・教職員組合の説明を丁寧に行うことが、高教組への理解につながり、組織拡大の第一歩となることだと思います。今回の参加者には今後ともいていねいなアプローチを続けたいと考えています。参加者のいる支部・分会はご協力をお願いしたいところです。参加者の感想は以下の通りです。

高教組、労働組合

〇私たちの労働条件など見えない部分で苦勞があると思います。無くてはならないものだと思えます。

感想・要望

〇直前にポイントを教えてくださいただ良かったです。自学ではわからない効率のよい方法を学べて充実した時間でした。

〇要点を絞った講義はとてもわかりやすく、また苦手としていたところの解説があり、理解できたので良かったです。

〇直前と言うこともあり、本当に出題頻度の高いものをポイントを押さえて演習、解説をしてください。参加して良かったです。前回の講座も参加したかったです。

〇自分自身の勉強不足が実感させられ、改めて身が引き締まる思いになりました。

〇なかなか独学ではモチベーションを保つのが大変です。このような会を開いていただき、改めて試験への姿勢を整えることができました。

〇自分と同じ立場の先生方がたくさんおられ、頑張ろうと意欲が湧いた。

〇1次に合格できれば2次対策学習会もよろしくお願いします。

日時：8月25日(土) 26日(日)

場所：高教組会館 長崎

教員採用試験2次対策学習会の案内

市川2-1-5 電停

「新中川」下車徒歩3分

日程：10時～12時30分

13時30分～16時の2グループで、小論文・面接(模擬授業含む)を実施

申込者には事前に小論文のテーマを送ります。事前に時間を計り、書いて、当日提出してください。

定員：各日10名ずつ

申し込み方法：1次発表後できるだけ早く、FAX、葉書、メール(申込用紙の内容を入力して送信してください)で申し込んでください。

(申込用紙は発送済み。高教組ホームページからもダウンロード可)

分会長を中心に激励、声かけ、申込みのサポートをお願いします。

退職手当の大幅削減を許すな！ ～総務省前7.4緊急要求行動～



総務省前で座り込み

公務労組連絡会挨拶

公務労組連絡会(全労連公務部会)・全教は、7月4日、国家公務員退職手当大幅削減に反対して、総務省前での緊急要求行動にとりくみました。緊急の呼びかけにもかかわらず、集会には、全国から国家公務員・自治体職員・教職員、320人が参加、長崎高教組から大場委員長が参加しました。集会では、「総務省前昼休み要求行動」、「退職手当削減に反対する、内閣・総務大臣への個人請願行動」、「座り込み行動」が行われました。総務省前昼休み要求行動では、主催者あいさつで、「手当削減の不当性にふれ、「有識者会議の結論あり

今年(平成24年)の平和行進(幹線コース)は、6月28日に長崎市の平和祈念館前で出発集会を行い、広島までの行進が始まりました。29日(西諫早駅前)、30日(大村市役所)、7月1日(東彼杵駅前)、2日(ハウスステンボス駅前)、3日(佐世保市内)、5日(佐賀との県境)まで歩き続けられました。今年も雨に濡れながらの行進の日も多くなりましたが、悪天候にも負けず、「核兵器をなくそう」のアピールを沿道に響かせました。高教組からは、長崎・諫早・大村・佐世保の各支部が、それぞれの地域実行委員会の実行委員長な

高教組・高退教の行進



「核兵器をなくそう」のアピールを沿道に響かせました！

どの役割を担いながら参加し、5日には無事、全教の通し行進旗を佐賀高教組に引き継ぎました。

きの報告に断固反対する。引き下げの目的は参議院における消費税増税の露払い」と強調しました。総務省への個人請願行動には全員が参加、大場委員長は「400万円を超える減額は退職手当の15%を大きく超える額。公務員法からも許されないと要求しました。撤回せよ」と要求しました。その後、全国からの参加者がリレートークを行い、それぞれに「職場は全員が怒り心頭だ。署名をはじめ、反対のとりくみを大きく広げよう」と決意を述べました。

実教部第35回定期大会開催 格付け年齢改善へ、 様々なとりくみを確認！

様々なとりくみを確認！

7月8日(日)、長崎高教組実習教員部は、大村市コミュニティセンター(シーハット大村)で、第35回長崎高教組実習教員部定期大会を開催しました。参加者は16人でした。

実習教員部県教委交渉が今年度に予定されており、実教部大会では、県教委交渉の最重要課題である2級格付け年齢引き下げ要求についての具体的な検討が熱心に行われました。

馬場書記長から、現在の給料表をモデルにして、格付け年齢40歳・45歳・50歳での昇級による生涯賃金の差が最大100万円にもなることが説明され、参加した代議者は、昇格年齢の引き下



2012年度長崎高教組実教部第35回定期大会

「実習助手」採用試験対策講座の案内

平成25年度県職員(職種・実習助手)採用試験の受験者を対象とする採用試験対策講座の受講申込用紙が各分会に送付されています。

期限付き採用の方はこの機会に是非受講してみてください。日程と講座内容は、

一回目 8月4日(土) 13:00

二回目 8月24日(金) 13:00 (予定)

三回目 10月末頃予定

国語・理科・英語の3教科

すでに各分会に第1回目の申し込み案内が送付されています。分会長に訪ねてみてください。組合員は上限3000円の旅費が支給されます。未組合員の方も申し込み時に長崎高教組に加入すると同条件になります。非常勤の方の組合費は月1000円です。

定通部第38回総会・第60次 県教研「定通教育分科会」開催

7月15日(土)、高教組定通部は、長崎高教組会館で第38回総会(午前)第60次県教研「定通教育分科会」(午後)を開催しました。参加者は、

総会参加9人、教研「定通教育分科会」参加27人(一般参加3人含む)でした。

今年度の方針では、工業定時の建築学科の希望者が減っていることに係わって、「志願者が減ることによって廃科・学科の統廃合につながる、募集停止のおそれもある」ことが問題として指摘され、「定通制における、安易な廃科・統廃合に反対」の方針が新たに加えられ、さらに、昨年の交渉を踏まえて、「すべての定時制高校に、選任のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置」も加えられました。

また、組織拡大では、「職場間の交流を深める」ことが方針として確認されました。午後、県教研分科会で

木村 和子さん



野尻 紀恵さん



は、「子どもの育ちを支える」スクールソーシャルワーカーの視点(日本福祉大学 准教授 野尻紀恵さん)と「スクールソーシャルワーカーの実践現場から」(長崎市スクールソーシャルワーカー・純心学園スクールソーシャルワーカー 木村和子さん)を聴きました。参加者の中には、スクールソーシャルワーカーのことを初めて知ったという人もあり、講師がともに「子どもと子どもをとりまく様々な環境(学校、家庭、地域、友人など)をつなぐことがスクールソーシャルワーカーの仕事」と説明されたことでスクールソーシャルワーカーの実践が子どもにとって大切であることを知る機会になりました。

2012教育全国署名スタート 3万筆集約(長崎)を決意!

7月6日(金)、「2012ゆき」といいた教育を求める全国署名」スタート集約が東京星陵会館で開催されました。全教加盟の教職員組合、教組共闘の仲間、全国の父母、生徒が参加、長崎からは、高教組執行委員長、長崎私教連副委員長2人が参加しました。

「集約」の「格差なく学べる社会の実現」を採択

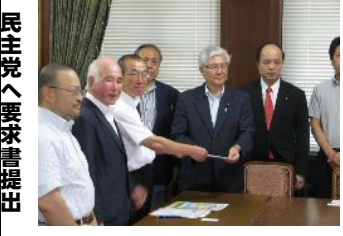
星陵会館での集約では、全教からの基調提案で「昨年度までの23年間の署名数は4億1000万筆を超え、他に類を見ない運動であり、国や地方自治体に教育条件整備の維持・改善や、給付制

奨学金制度の創設などを要請しました。民主党は、「授業料無償化は維持する」としたものの、「給付制奨学金制度の創設は、財政面を考慮しなければならぬ(ので難しい)」との回答にとどまりました。



2012年度スタート集会 各地のとりくみを発表

をすすめさせる大きな力となっている」と報告があり、その上で、教育全国署名の意義を5点(①国の責任で少人数学級を前進させること②必要性③ゆきといた教育を保障するための教職員増の必要性④障害児学校の「設置基準」をつくること⑤の必要性⑥国際人権規約の留保撤回、教育費無償化実現の要求⑦私学の無償化の必要性)あげ、今年度も、ゆきといた教育の実現のため、「すすめる会」などの共同をすすめ、署名を大きく広げようと呼びかけました。その後、各地での署名のとりくみの決意が述べられ、長崎からは、大場委員長が「ここ数年、委員、私立を併せ3万筆を超えていない。今年度はぜひ3万筆を達成するために頑張りたい」と決意を述べました。最後に、参加者全員で「どの子どもも格差なく学べる社会を実現させるために、教育全国署名の運動を大きく広げよう」というのアピールを採択し集約を終了しました。



民主党へ要求書提出